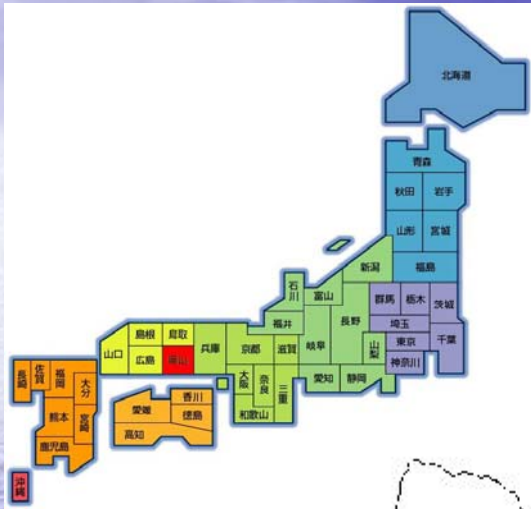


# 笠岡諸島の旅客船航路の統合



三洋汽船株式会社  
岡山県笠岡市

# 岡山県笠岡市の概要



- 人口: 53,421人 (H24.2.29現在)  
(うち65歳以上16,265人、高齢化率30.4%)
- 世帯: 22,338世帯
- 面積: 136.06km
- 将来の都市像  
“市民協働で築くしあわせなまち  
活力ある福祉都市かさおか”
- 重点施策  
定住促進事業  
協働システム再構築事業  
離島振興



# 笠岡市の自慢

- “風光明媚”笠岡諸島



- “夢の大地”笠岡湾干拓地



- “生きている化石”カブトガニ



- “ご当地グルメ”笠岡ラーメン



# 笠岡諸島の概要



- 有人7島の状況

高島:	106人	高齢化率58.5%
白石島:	607人	高齢化率60.1%
北木島:	1,047人	高齢化率60.6%
真鍋島:	279人	高齢化率61.3%
小飛島:	31人	} 高齢化率76.9%
大飛島:	86人	
六島:	79人	高齢化率53.2%

※H24.2.29現在

- 大幅な人口減少

最盛期の10,000人超から2,200人に減少

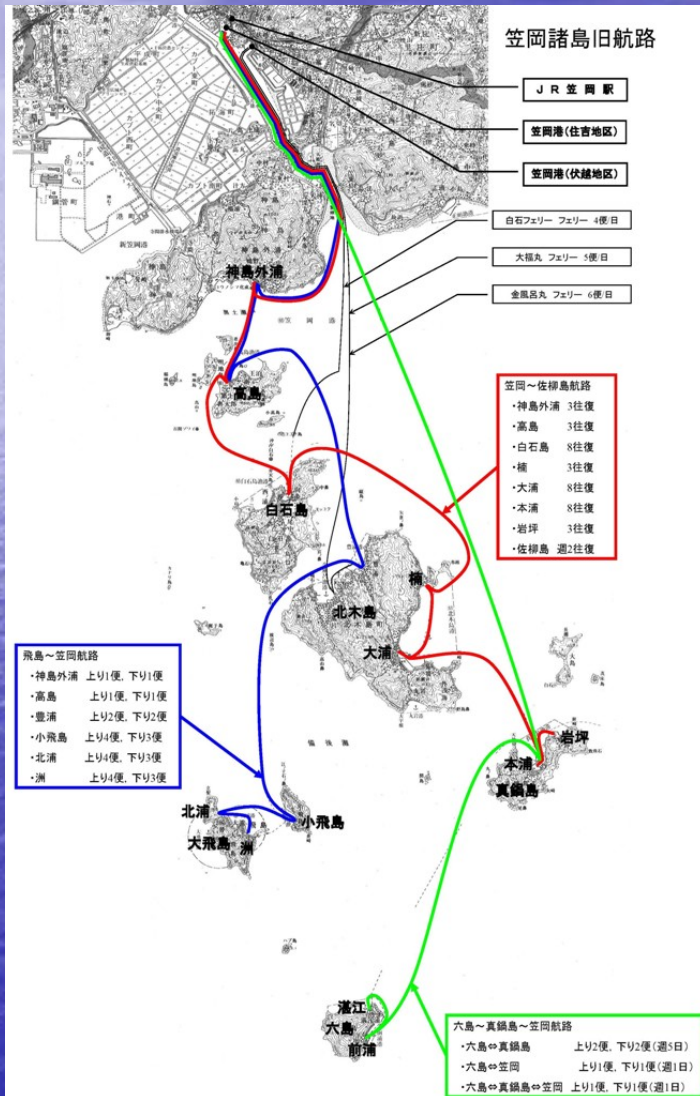
- 高齢化による担い手不足



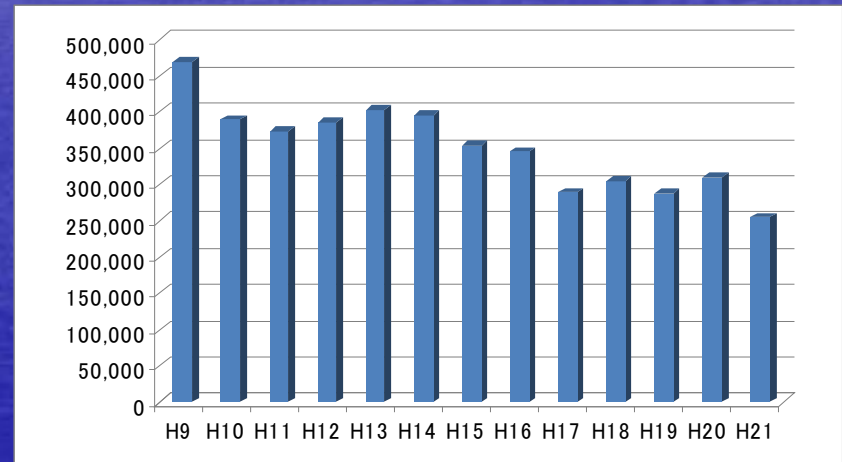
- 地域の活力の低下



# 旧航路の問題点



## × 利用者の減少



## × 経営基盤が脆弱

- 旅客船3社(うち2社は補助航路事業者で債務超過)
- フェリー3社(うち2社は競合航路)

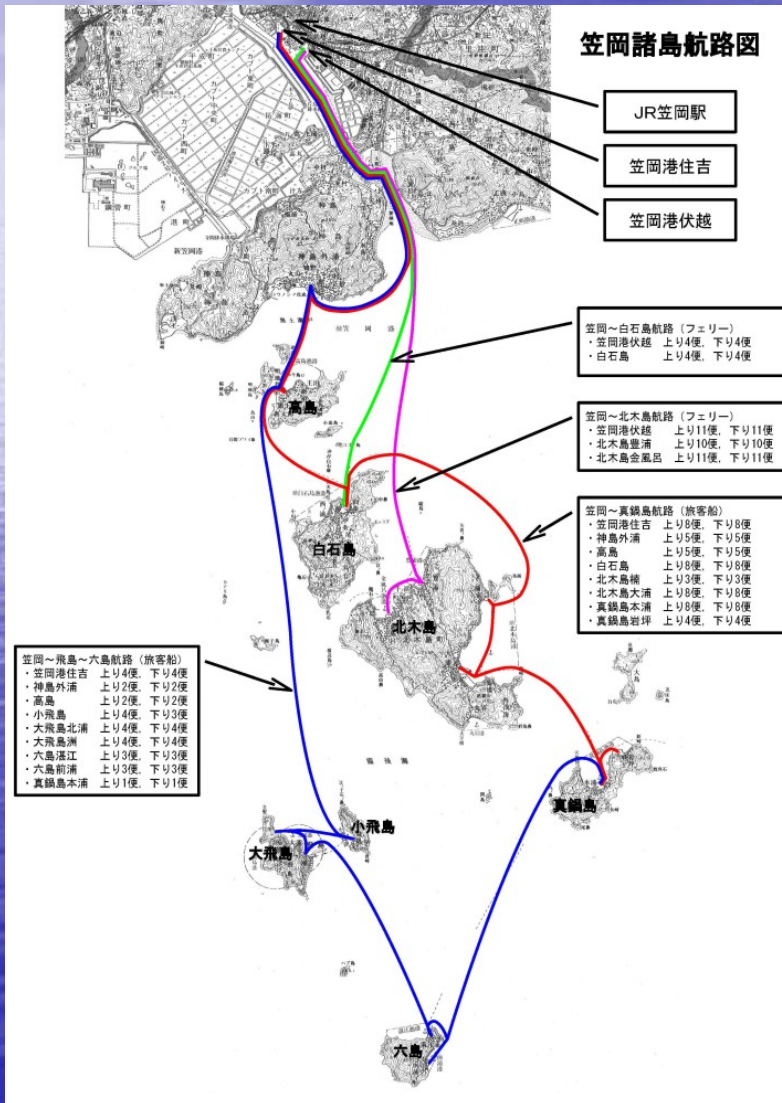
# 航路の統合

- 笠岡市地域公共交通総合連携計画の策定  
時期:平成20年度  
特記:公の文書に航路統合を初めて明文化
- 航路改善計画の策定  
時期:平成21年度  
特記:旅客船3社の航路統合の具体的手法を明記  
笠岡市による支援を明記
- 譲渡譲受により旅客船3社を1社化  
時期:平成23年4月1日
- 1社化後の新航路スタート  
時期:平成23年10月1日





# 新航路の概要



- 島民意見の反映  
説明会(6島9地区)2回開催  
報告会(6島7地区)1回開催

- 旧航路のサービス水準を確保

# 航路統合の効果

◎利用者の利便性が概ね向上

- 本土から一番遠い六島から、毎日、乗換なしで往復できるようになった。
- 運賃の高い高速船の便数を減らし、安い普通船の便数を増やした。

◎離島航路補助金の削減

- 旧航路では、2社に対し、国・県・市の合計で5,000万円の補助金を支出していたが、新航路では、2,600万円程度に抑えられる見込



# 航路統合を可能にした理由

- 航路事業者、許認可官庁(国土交通省)、地元自治体の認識の共有ができたこと。
- 入念な事前調査を行い、現状を把握したこと。
- 地元自治体の首長の強い決意



- 将来に対する“危機感”が生まれ
- 当事者間の“理解”が進み
- 航路統合に向けての“覚悟”ができた。

ご清聴、ありがとうございました。

三洋汽船株式会社  
岡山県笠岡市